

# 小規模校のゼロから始める キャリア教育

## 実践編

自己実現力を高めるキャリア教育の推進について  
～地域・企業との協働的・探究的な学習に向けた、  
カリキュラムの開発・実践を通して～

三原市立大和中学校区  
令和5年度作成

- 出前授業  
【小・中学校】
- 職場訪問（職場体験活動の代替）  
【中学校】
- 外部人材による面接体験  
【中学校】
- 各学校の特徴的な取組  
【小・中学校】



# 出前授業

【小学校】  
○6年生：国語

学年	小学6年生
教科	国語
単元	町の未来を描こう
時期	9月
企業（職業）名	NTT西日本
依頼時期・方法	1学期 ICT支援員と連携
その他	特になし



大和小学校での出前授業です。  
6年生は、国語科「町の未来をえがこう」の単元で、NTT西日本の方（2名）に授業をしていただきました。  
話し方や作成のポイントなど、分かりやすいプレゼンの作り方について学びました。

**出前授業**  
**○Google Classroomを使った意見交流**

「わかりにくかったところ」「もっとこうしたら良い」

写真が小さくて、字が見えにくかった。	違う情報が入っていた	文字が小さくて見にくかった。	写真が少なかった。
文章について、字が多すぎて、字が多すぎるので読めなかった。	間の空気がなかった	3ページ目がすごく文字が小さかった。大きくしたほうがいい	もっと3ページの有名な場所を知りたかった

最初と比べて、どんな違いがありましたか？

参考資料が表示されていてわかりやすい	文字を大きくしていた	写真や図をメインにはびょうしていたからわかりやすい	イラストや写真がたくさんあることで、読みやすくなった	最後のホームページがあったので、どのようなのかわかる
文がまとめられていてわかりやすい	写真をたくさん使っていた	上手にまとめられていた	長文になっていない	グラフを使うことで、すくに分かる
写真や資料をうまく使っていた	文字は少しでも多い内容がほしいから、たくさん使っていた	内容がよくわかる	3ページを知らなかった人にもわかるようにした	手を使ってどこを読んでいるかわかる

初めに、スライドの中に文章がたくさん書いてあるスライドを提示し、どこが分かりにくいのか考えるようにしました。

次に、1スライド1メッセージで写真やグラフを使ったスライドを提示し、どんな違いがあったか考えるようにしました。

子供たちは、2枚のスライドを比較することを通して、分かりやすいスライドの作り方について学ぶことができました。

## 出前授業

### ○児童の振り返り

#### 2, 現在の課題

現在の大和町は

- ・人口が少ない
- ・自然をいかせていない

ことが課題だと考えました。

右のグラフのように2005年から現在まで人口どんどん減ってきています。



#### 4, 事例② 印西市

環境美化活動 「ゴミゼロ運動」



指導員によるハトリロールを実施

2014年の参加者はのべ100,294人にのぼった

この授業を受けた後に、子どもたちが実際に作ったプレゼンのスライドです。児童は、スライドにグラフや写真を入れたり、吹き出し等で短い文章にまとめたりして、分かりやすいスライドを作ることができました。

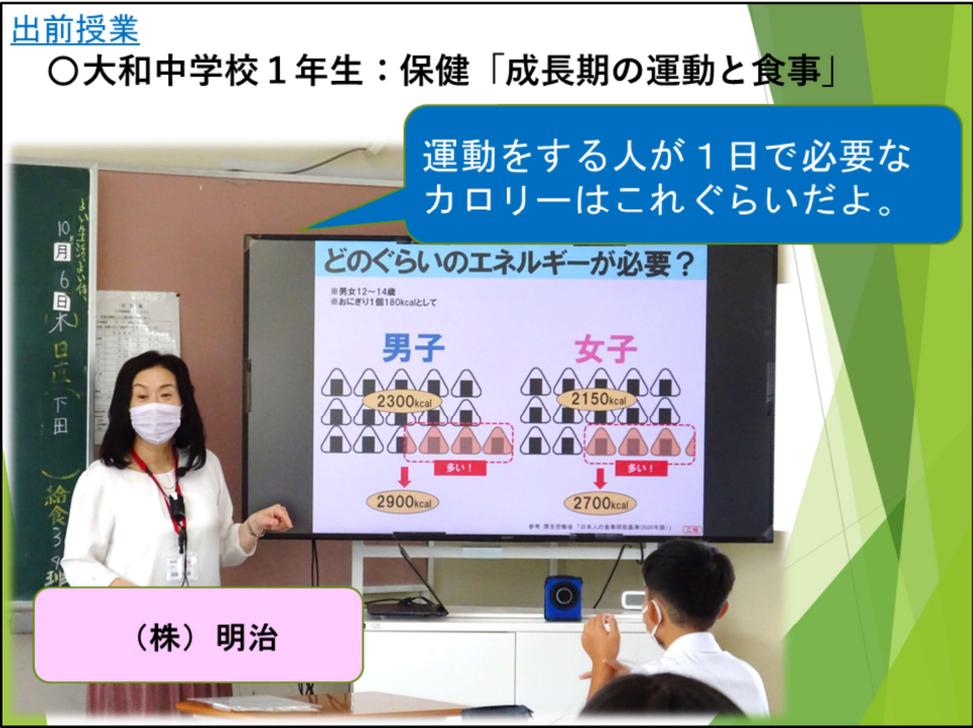


# 出前授業

## 【中学校】

- 1年生：保健
- 2年生：国語、保健
- 3年生：社会、数学、理科

学年	中学 1 年生
教科	保健
単元	成長期の運動と食事
時期	10月
企業（職業）名	（株）明治
依頼時期・方法	1学期 企業作成の申込用紙
その他	特になし



大和中学校での出前授業です。

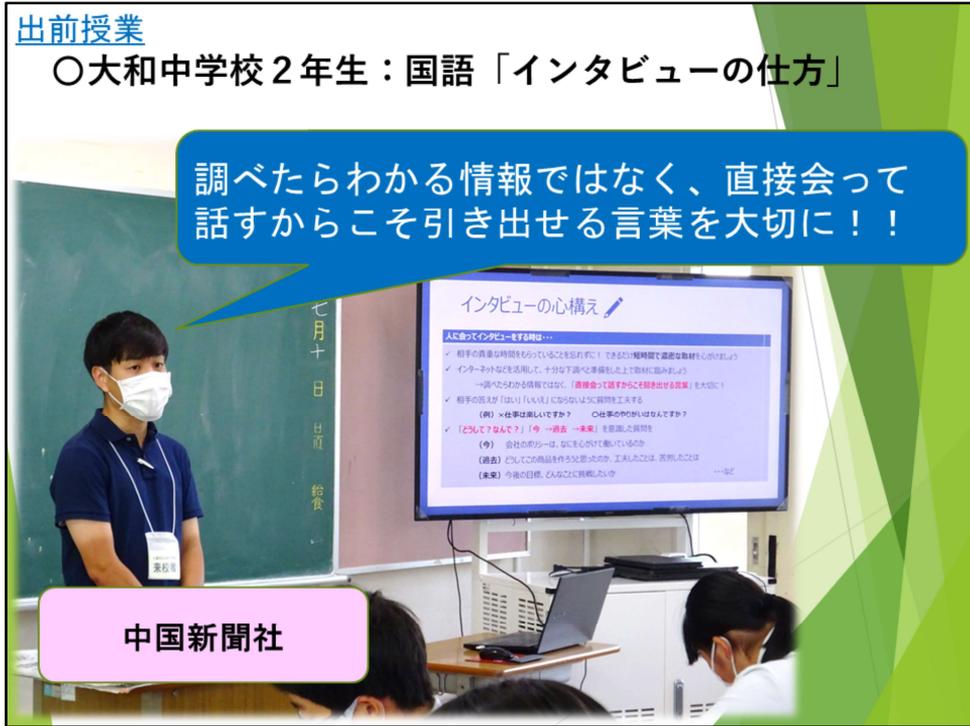
1年生は、保健の「成長期の運動と食事」という単元で、株式会社明治の方に授業をしていただきました。  
カロリーや栄養などのことについて学びました。

学年	中学2年生
教科	国語
単元	インタビューの仕方
時期	6～7月
企業（職業）名	中国新聞社
依頼時期・方法	4月 企業作成の申込用紙
その他	職場訪問と関連あり

出前授業

○大和中学校2年生：国語「インタビューの仕方」

調べたらわかる情報ではなく、直接会って話すからこそ引き出せる言葉を大切に！！



2年生は、国語の「インタビューの仕方」という内容の授業を、中国新聞社の方にいただきました。  
これは、夏休みに実施した職場訪問でのインタビュー活動と関連付けています。

学年	中学2年生
教科	保健
単元	ストレスへの対処
時期	3学期
企業（職業）名	ヨガインストラクター
依頼時期・方法	2学期・メール
その他	学年・時期はいつでもよい

出前授業

○大和中学校2年生：保健「ストレスへの対処」

気持ちには揚がっている、沈んでいるときがある。落ち着いた状態に戻せるとよい！！



ヨガインストラクター

2年生の保健の「ストレスへの対処」という内容の授業を、ヨガインストラクターの方（大和中卒業生）にしていただきました。  
気持ちが揚がっていたり、沈んでいたりとすると心身ともに疲れるので、その時にどのように対処するとよいかについて、ヨガをしながら学びました。

学年	中学3年生
教科	社会
単元	金融
時期	11～12月
企業（職業）名	しまなみ信用金庫
依頼時期・方法	1学期・メール
その他	広島銀行なども可

出前授業

○大和中学校3年生：社会「金融」

借金のすべてが悪いことではないよ。  
ライフイベントでは、どれぐらいの費用が  
かかるかな。

金融機関は、人や企業をつなぐ「架け橋」！！

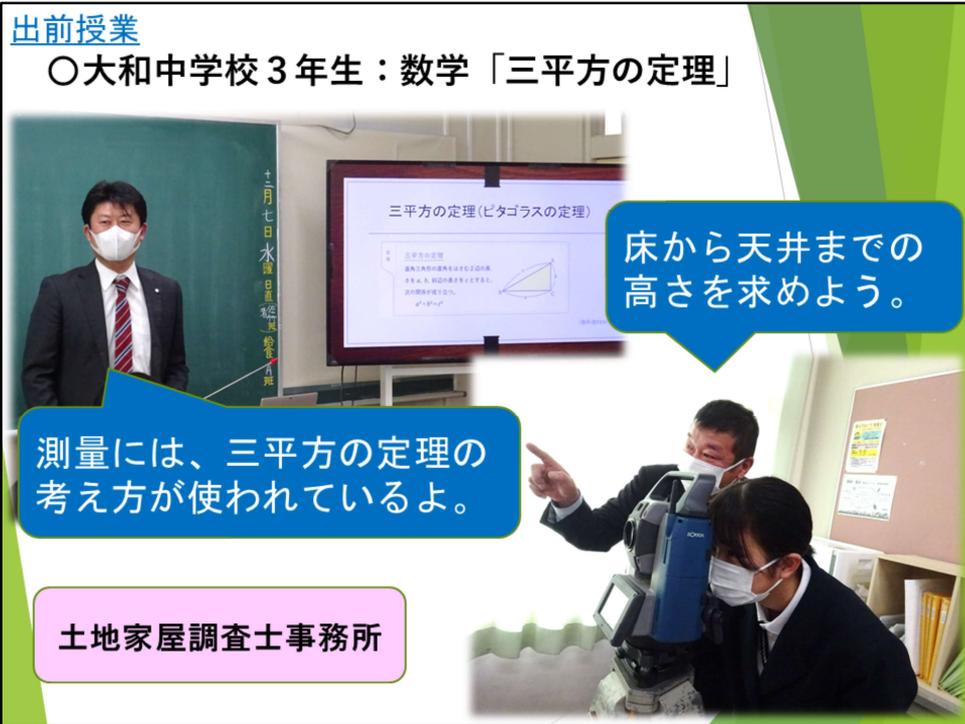


しまなみ信用金庫

3年生は、社会の「金融」という単元で、しまなみ信用金庫の方に授業をしていただきました。

ライフイベントでどれぐらいの費用がかかるか、その費用を捻出するために、時にはお金を借りる方法があることを学びました。

学年	中学3年生
教科	数学
単元	三平方の定理
時期	12月～1月
企業（職業）名	土地家屋調査士事務所
依頼時期・方法	1学期・メール
その他	単元末での学習がよい

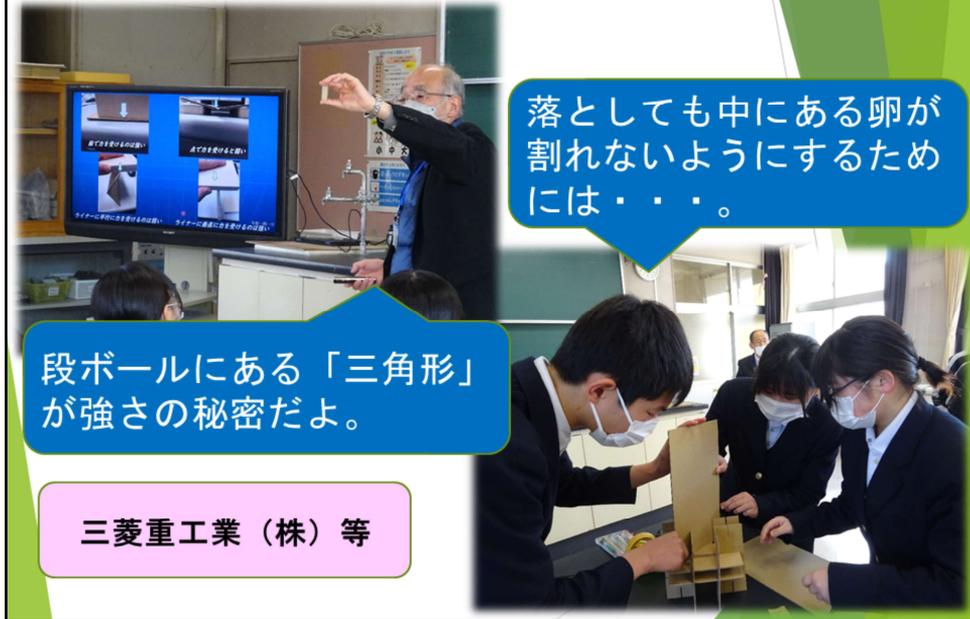


3年生の数学「三平方の定理」という単元で、土地家屋調査士事務所の方に授業をしていただきました。  
2点間の距離を3か所測り、三平方の定理を用いて床から天井までの高さを求めることなどをしました。

学年	中学3年生
教科	理科
単元	物体の運動
時期	1月
企業（職業）名	三菱重工業（株）他
依頼時期・方法	2学期・メール
その他	2時間授業

**出前授業**

**○大和中学校 3 年生：理科「物体の運動」**



3 年生の理科「物体の運動」という単元で、三菱重工業（株）等（三菱重工機械システム（株）、NPO法人子ども・宇宙・未来の会）の方に授業をしていただきました。

段ボールは、ある方向からの力には弱く、別の方向からの力には強いことを学びました。

このことを利用して、屋上から落としても中に入れた卵が割れないようにするためには、どのように段ボールを組めばよいか考え、入れ物を作成しました。

実際に、屋上から段ボールで作成した入れ物を落としたところ、9 班中 8 班が成功しました。

## 出前授業

### ○生徒の振り返り

#### 【1年保健：(株)明治】

「今ちょうど2回目の成長期だからこそ、運動(部活)を続けたり、朝ごはんを工夫することが必要だと思いました。」

「私は、エネルギーが足りていないなと思ったので、野菜や果物をもっと食べるようにしていました。」

#### 【2年国語：中国新聞社】

「職場訪問のとき以外でも使えるようなアドバイスをいただき、よかった。」

「インタビュー以外でも、日常生活にも役立てたい。」

授業後の生徒の振り返りです。

学んだことを日常生活に役立てようと考えています。

## 出前授業

### ○生徒の振り返り

#### 【2年保健：ヨガインストラクター】

保健体育の授業で習ったストレスを解決することはもちろん大切だけど、ストレスを解消するためには息を整えることが大切だと思いました。今後の生活ではストレス解消のため、深呼吸と心を落ち着かせてからストレスを解決させていこうと思いました。

保健体育科で学ぶことは、今後の生活の手助けや必要になる場面ですら使えることができるようになるために大切だと思った。特に、保健は負傷時や倒れている人を見た時の対処法を身に付けることができるので、しっかり勉強しておきたい。

(上) これまでの保健の授業で学習したことと、本時で学習したことをつなげ、さらに、これからの過ごし方に触れています。

(下) 本時のこと以外でも、授業で学んだことを発揮できる場面を想定しています。

## 出前授業

### ○生徒の振り返り

#### 【3年社会：しまなみ信用金庫】

今頃自分が成長し、歳を重ねることに伴う行事や大きな出来事などは、  
かかる費用がどれくらいあるのかも、通常の銀行と信用金庫の違いなども  
知っておくことで将来自分の夢を見据えて生活できるようにしたいと  
感じている。

#### 【3年数学：土地家屋調査士事務所】

「数学なんて、下人にならなくていいからなん！」って思ってたけど、  
土地家屋調査士の測量を實際学んで、  
数学の大切さがありました。

教科で学んだことを将来使うことがあることを感じ取っています。

## 出前授業

### ○生徒の振り返り

#### 【3年理科：三菱重工業（株）等】

理科で学んだことは、身の回りのもののしくみや身の回りのなぜ?が解明されるので、今後の生活でいばるべき  
お時、理科で学んだことが役に立って、生活にお影響を  
あたえてくれると思う。例えば、電地のしくみや慣性作用、反作用、  
運動原理などは、生活に密着していると思うので、よく知りたい  
は、導線作業がしたりできるので、生かすことができると思う。

#### ●言語能力（聞く）

**理由** 出前授業でどうやってボールで使う高圧ワイヤ  
落ちる卵を守るか、の授業で、他の人の工夫を  
聞き、自分と比較し、どこがダメで、どこがよかったのか  
など、自分の頭で考え、どのようにしたら次はもっと完璧  
にできるのか、なども考えることができた。

理科が生活に関わっていることを感じ取るだけでなく、「物体の運動」以外の単元も生活に密着していることを感じ取っています。

また、資質・能力の「言語能力（聞く）」を発揮したという振り返りをしている生徒がいました。

「他の人の工夫を聞き、自分と比較し、どこがダメでどこがよかったのかなどを自分の頭で考え、どのようにしたら次はもっと完璧にできるのかなど、考えることができた。」とあり、これは、ルーブリックの4にあたります。





# 職場訪問 (職場体験活動の代替)

【中学校】

## 職場訪問（職場体験の代替）

### ○大和中学校2年生：総合的な学習の時間



町内18事業所

コロナ感染拡大防止の観点により、夏季休業中に5日間の職場体験学習を実施することは困難であると市全体で判断したため、職場体験学習は中止となりました（令和2年度より継続して中止）。

代替の取組として、中学2年生が地域にある18事業所へ訪問し、職業観に関するインタビューを実施しました。

インタビューの内容は、

- ① 仕事のやりがいを教えてください。
- ② 辛かったこと、仕事をやめたいと思ったことはありますか。  
もし、あった場合、どのようにして乗り越えましたか。
- ③ この職業についての理由を教えてください。
- ④ 日頃から気をつけていることを教えてください。
- ⑤ 中学生のときにやっておくべきことを教えてください。
- ⑥ 今の目標と目標達成のためにしようと考えられていることを教えてください。

などといった項目と、各事業所に合った内容です。

## 職場訪問（職場体験の代替）

### ○生徒の振り返り

この活動を以前は働くとはただお金を稼ぐことだと思っていたが、お金をかせぎながら、みんなのために、することが働くということだと思った。また行くが働くときは自分の好きなこととして、楽しく、したと思う。働くことは決して楽しいことではないが、それがあることで働きがいがあるのだと思う。

「働く」ということは、一言では表せないけど、人によって感じ方は違うと思うけど、私は、「働く」というのは自分に生きる楽しさと新しい発見を欲求してくるようなものだと思いました。働いているとき感じたやりがいが「楽しさ」に、体験したことは「発見」につながると思ったからです。だから、私も「楽しい」「やって自かた」と思えるように仕事を頑張っていきたいし、社会に貢献できるようになりたいです。

生徒の振り返りです。

（上）働くこととは「お金を稼ぐこと」と考えていた生徒が、働きがいについての視点をもつことができました。

（下）働くことから楽しさややりがいを見いだそうとしています。

職場訪問（職場体験の代替）

○大和中学校2年生：総合的な学習の時間

働くことの魅力について



また、大和町にない職業として、東京でテレビ番組制作を手掛ける（株）極東テレビ台に勤めている方（大和中学校卒業生）を講師として招き、働くことの魅力についてお話していただきました。

また、仕事をする際は、コンプライアンスを意識して取り組んでいることについてお話していただきました。

※モヤモヤさまぁ〜ず、有吉の壁、モニタリング等の番組制作に携わられている。



# 外部人材による面接体験

【中学校】

外部人材による面接体験

○大和中学校3年生：総合的な学習の時間



中学3年生を対象に、地元企業である「お多福醸造（株）」さんによる面接体験を実施しました。  
広島県の公立高校の入試同様、生徒が自己表現をし、そののち面接官から質問をしていただきました。

中には、タブレットを用いたり、自分の作品を持参したりする生徒もいました。

外部人材による面接体験

○面接官によるフィードバック



面接が終わったのち、その場で面接官から、良かった点や改善点を教えて頂きました。

## 外部人材による面接体験

### ○面接評価シート

項目	内容	評価	メモ欄 (特に何かあれば)
熱意	自分の魅力が伝わるように話すことができている。	B	話し方の 楽しさ
態度	きびきびした態度(入退室の様子、姿勢)である。	A	もったいない姿勢!
表現力	適切な言葉遣い、質問に正対した回答である。	A	

【評価】 A:十分にできている B:おおむねできている C:できていない

評価の観点	評価基準	評価	メモ欄 (特に何かあれば)
言語能力 (伝える)	自分の立場や考えが明確になるように、 根拠の適切さや 論理の展開などに注意して伝えている。	A	「何を伝えたいか よくわかる」
主体性	課題に対する自分の考えを持ち、 進んで行動している様子が伝わってくる。	B	「自分の意見、 何を話したか」
自己理解	自分の良さや個性を理解している。	B	「よく話し てくれていて 良いと思います」

【評価】 A:十分にできている B:おおむねできている C:できていない

これは面接時の評価シートになります。  
所作などのみではなく、本校で育成を目指す資質・能力について評価していただきました。

※広島県の評価規準と同様である。

言語能力(伝える) : ウ 表現する力

主体性 : イ 自分の人生を選択する力

自己理解 : ア 自己を認識する力

## 外部人材による面接体験

### ○生徒の振り返り

先生と練習するときも緊張したけど、実際に知らない方と話すともっと緊張した。

### ↳ 外部の方に面接をしていただく価値

自分の事を知らない人にどうやって自分のことをアピールできるかをもう少し考えたと思います。

### ↳ 相手意識の向上

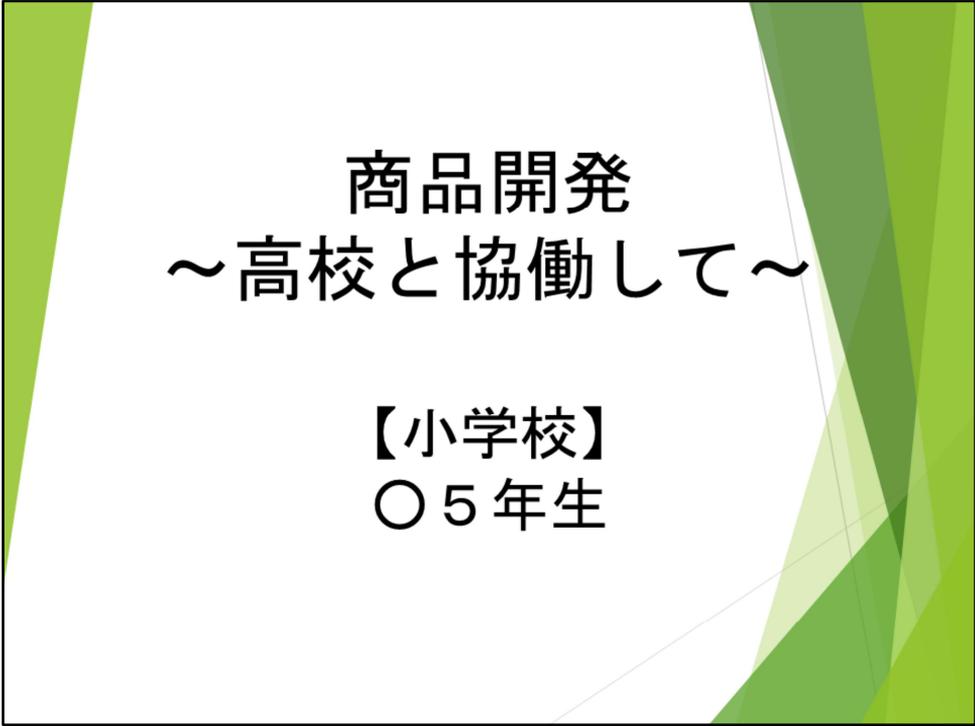
・知らない人と話すのはきんちようするけど、どうどうとし、話す。  
主体性と自己理解が少なかったから、自分と向き合い、自分自身がいかに  
ばって来たことや、自分の良いところをもっと言う。

### ↳ 資質・能力についての振り返り

面接体験後の生徒の振り返りです。

外部の方に面接をしていただく価値について触れた生徒や、相手意識が向上した生徒、資質・能力について振り返った生徒がいました。





商品開発  
～高校と協働して～

【小学校】  
○5年生

○大和小学校5年生：商品開発の取組

**1年間の取組の流れ**

6～7月	商品開発の計画を立てる 高校生に商品開発のポイントを聞く
夏休み	商品の考案
9月	商品を高校生にプレゼン
10月	商品の決定 華金カフェに向けた準備
11月	華金カフェ実施



1年間の取組の大きな流れです。

各学校の特徴的な取組

＜総合的な学習の時間＞

○大和小学校5年生：【テーマ】大和町のよさをきらりと光る宝にしよう

# 総合技術高校×小5



大和小学校5年生の取組についてです。  
総合技術高校とコラボして、大和町の特産品の1つである大和白竜レンコンの商品開発に取り組みました。

○大和小学校5年生：【テーマ】大和町のよさをきらりと光る宝にしよう

## レンコンレシピの考案

## 情報活用能力

○レシピ名

・豚肉とれんこんのカラフルやき

材料 (2人分) (原材料・調味料名)	分量 (大きさ、g、mlなど)	出来上がり図 (イラストや写真)
豚肉	豚肉 200g	
めんつゆ	めんつゆ 大さじ2	
生姜チューブ	生姜チューブ 2cm	
れんこん	れんこん 100g	
ピーマン	ピーマン 2コ	
人参	4分の1コ	
合わせ調味料	水 大さじ2 砂糖 大さじ1 しょうゆ 大さじ2	
水		
砂糖		
しょうゆ		
作り方		
①豚肉をそそぎりに切る。 ビニール袋にめんつゆと生姜と豚肉を入れて混ぜ2分間おいておく。 豚肉を袋から取り出しペーパータオルで汁気を取る、その後片栗粉をまぶす		
②れんこんは輪切り、ピーマンと人参は細切りにする		
③フライパンに油を入れ、豚肉を両面焼く その中にれんこん、ピーマン、人参を入れ合わせ調味料を入れて、葉し焼きにし時々蒸げて汁けがなくなったら出来上がり		
料理のアピールポイントや作るコツ		
・赤と、緑と、白で色どりにいい		
・調理時間が短い		

○レシピ名

・レンコンとチーズのガレット

材料 (2人分) (原材料・調味料名)	分量 (大きさ、g、mlなど)	出来上がり図 (イラストや写真)
じゃがいも	250g	
レンコン	50g	
薄力粉	大さじ1	
塩・胡椒	少々	
ピザ用チーズ	45g	
オリーブオイル	適量	
クチャップ・ソース	お好みで	
作り方		
①じゃがいもはすりおろし、レンコンは薄くスライスする		
②ボウルにすりおろしたじゃがいもを入れ、薄力粉と塩・胡椒を入れて混ぜる		
③オリーブオイルを敷いたフライパンに②を入れ、丸くなるように広げる		
④③の上にピザ用チーズをのせ、レンコンを並べる		
⑤焼き目がついたらひっくり返す		
⑥フライパンのふちにオリーブオイルを垂らす		
⑦フライ返しで押しさえながら1、2分焼いてお皿に盛り付け完成です		
料理のアピールポイントや作るコツ		
・じゃがいもをするときにアクがたくさん出るので薄力粉などを入れる前にアクを捨てたほうが良いと思った。		
・今回はクチャップをかけたが、ソースをかけても良いと思う。		

※スライドの右上にその時間で育成を目指す、または発揮する資質・能力を載せています。

はじめに、大和白竜レンコンについてインターネットを使って、作られるようになったきっかけや白竜レンコンの味の特徴などを調べました。

そして、調べたことをもとに夏休みに一人一人がレンコンを使ったレシピを考えました。このレシピには、材料や作り方だけでなく、料理のアピールポイントや作るコツなどもまとめていきました。

夏休み中に、実際に試作品を作ってみた子もいました。

○大和小学校5年生：【テーマ】大和町のよさをきらりと光る宝にしよう

## 高校生にレシピのプレゼン 言語能力（伝える）



夏休み後には、自分たちが考えたレシピの中から8点を選んで、高校生にプレゼンを行いました。

自分たちがアピールしたい大切な言葉を繰り返したり、写真などの資料と結び付けたりしながら伝えていきました。

高校生は、オリジナリティーやできばえなどの審査項目を設けて審査してくれました。

改良点なども教えてくださり、さらに学びが深まりました。

○大和小学校5年生：【テーマ】大和町のよさをきらりと光る宝にしよう

## 華金ショップに向けた準備

## 主体性



オリジナルキャラクター「レンコック」

高校生による審査の結果、「カリカリ揚げ」と「レンコン餅」「みたらし団子」の3品に決定しました。

それを11月の華金ショップで販売するために、どんなことを準備したらいいか話し合いました。

オリジナルキャラクター「レンコック」を考えたり、ポスターやチラシ、衣装を作ったりするなど、いろいろなアイデアが出てきました。

○大和小学校5年生：【テーマ】大和町のよさをきらりと光る宝にしよう

## レンコン掘り体験

主体性



10月末には、町内のレンコン農家の方に協力していただき、レンコンを実際に掘る体験をさせていただきました。想像以上にレンコンを掘ることが難しいことを実感することができ、貴重な体験になりました。

○大和小学校5年生：【テーマ】大和町のよさをきらりと光る宝にしよう

## 華金ショップでの販売

主体性、  
自己理解・他者理解



「カリカリ揚げ」

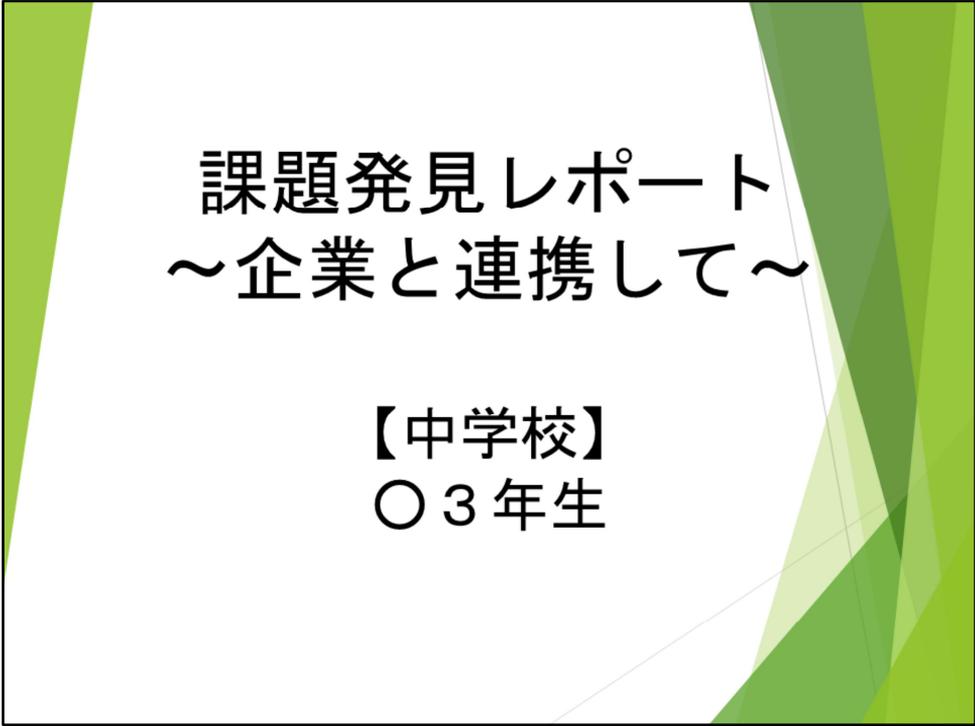
道の駅  
みはら神明の里  
で販売済

華金ショップ当日では、予想以上にたくさんのお客様に来ていただき、あっという間に完売することができました。

販売や呼び込みなど、みんなで協力して活動することができました。

大和町の特産品の1つである大和白竜レンコンを使った商品は、大和町のきらりと光る宝になりました。



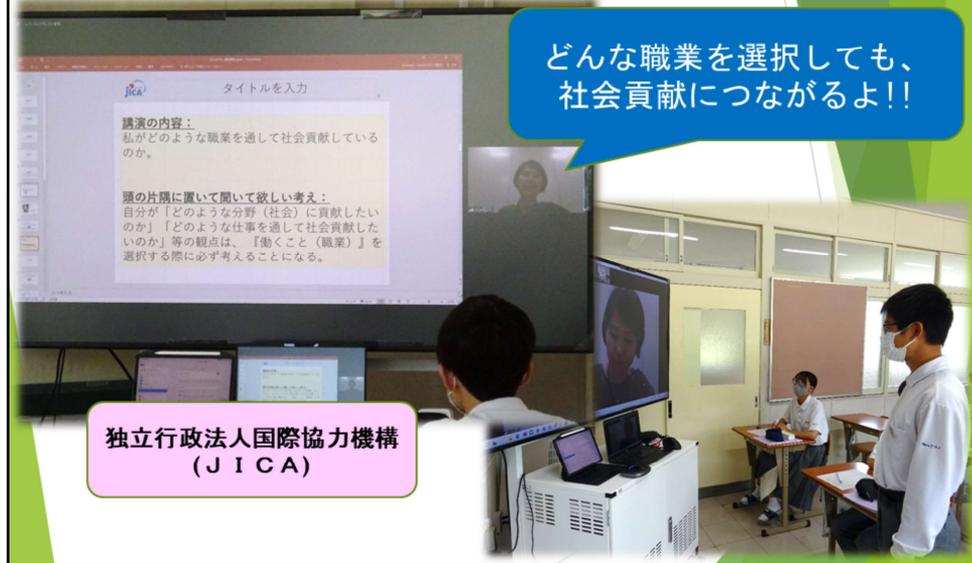


課題発見レポート  
～企業と連携して～

【中学校】  
○3年生

## 各学校の特徴的な取組

### ○大和中学校3年生：総合的な学習の時間 進路と社会貢献について

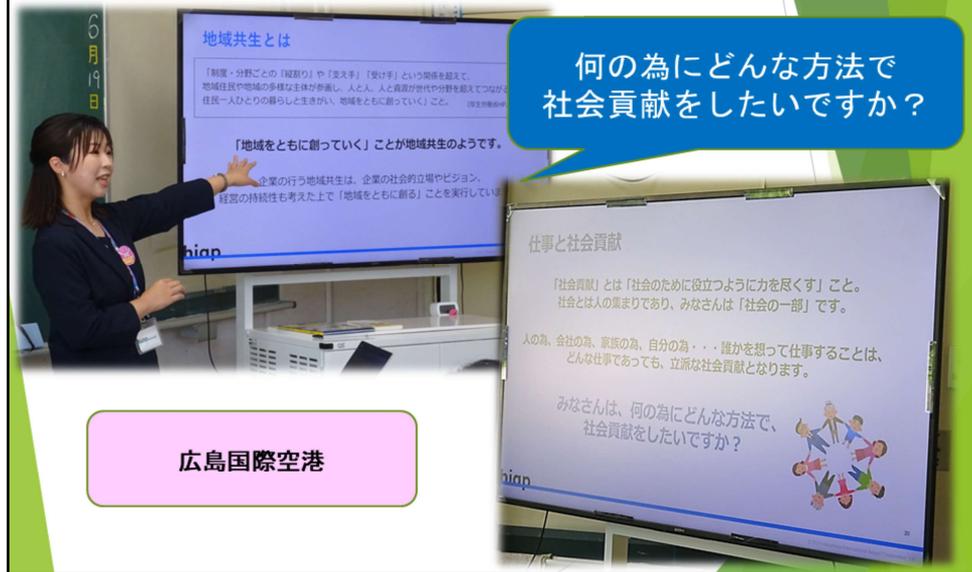


中学3年生は、働くことが自分の生活の充実（収入を得る、家族を支える、働くことそのものが楽しい等）につながるということだけではなく、社会貢献につながるということを知る授業を受けました。

講師は「独立行政法人国際協力機構（JICA）」の方（大和中学校卒業生）で、お話の中で「どんな職業を選択しても、社会貢献につながる」といった言葉をいただき、多くの生徒の印象に残っていました。

## 各学校の特徴的な取組

### ○大和中学校3年生：総合的な学習の時間 進路と社会貢献について



「広島国際空港」の方からも、「どんな仕事であっても、立派な社会貢献となる」といった言葉をいただきました。

## 各学校の特徴的な取組

### ○大和中学校3年生：総合的な学習の時間 進路と社会貢献について

誰かが喜ぶ仕事を作る。

努力

生物多様性

???

誰かが喜ぶ仕事を やってみるのもいいかも

JFEエンジニアリング

社会貢献と仕事

- 大きな社会問題（貧困、環境問題 etc）に興味を持つこともいい
  - 貢献の仕方は一つじゃなくてたくさんある
  - どうやって貢献できるか考えてみるのもいいかも
- 誰かが喜ぶこと＝社会貢献
  - 自分が好きなこと、得意なこと、苦手でもやりたいことで、誰かが喜ぶ仕事をやってみるのもいいかも
  - その仕事がどの様な社会貢献につながるか調べてみると、大きな社会問題の解決につながっていることが多い

「JFEエンジニアリング」の方からは、  
「自分が好きなこと、得意なこと、苦手でもやりたいことで、誰かが喜ぶ仕事を やってみるのもいいかも」といった言葉をいただきました。

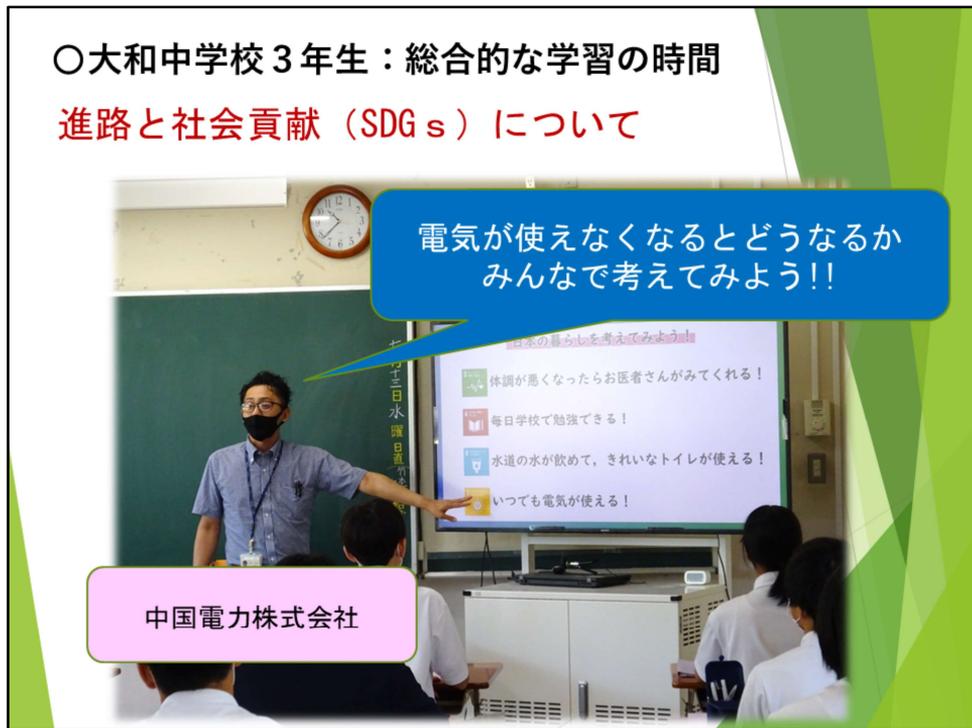


社会貢献の1つの視点として、企業に取り組んでいるSDGsについてのお話をさせていただきました。

食協株式会社の方から

- ・ 地域人材の積極採用
- ・ 広島県のお米を積極的に商品化していること
- ・ 地元小学生への食育授業の実施
- ・ 地域スポーツ（カープ、ホームテレビ主催のママさんバレーなど）への支援についてのお話をさせていただきました。

○大和中学校3年生：総合的な学習の時間  
進路と社会貢献（SDGs）について



中国電力株式会社です。

SDGs 17の目標のうち、

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

を中心に、ワークショップ形式の授業をしてくださいました。

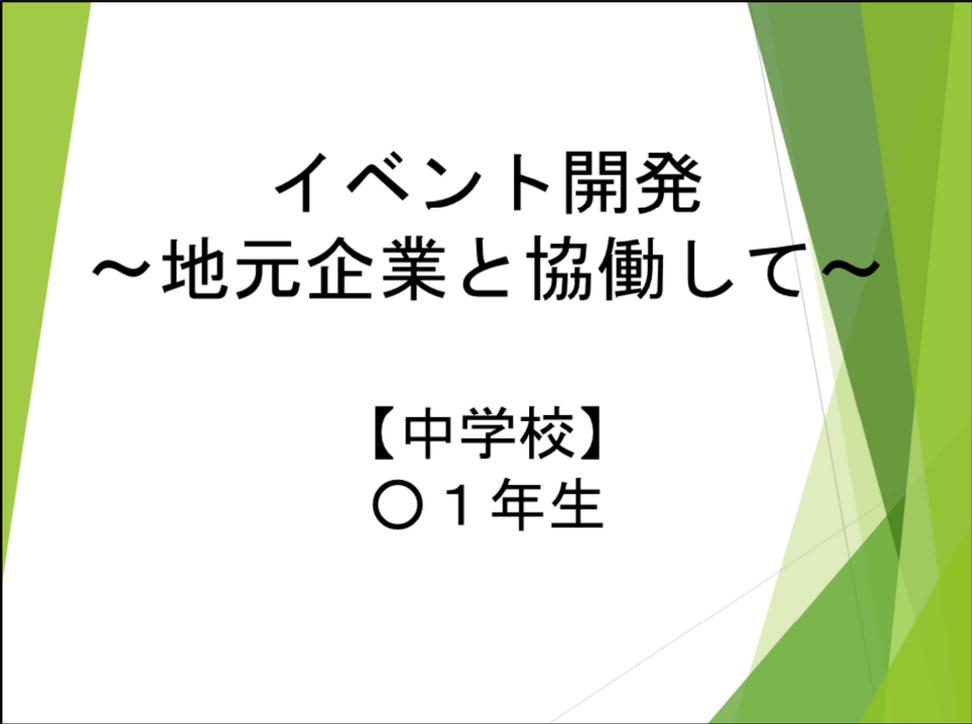
この授業を通して、いつでもどこでも電気が使えることは、SDGsの実現に向けて大切なことであることを学習しました。

## ○大和中学校3年生：総合的な学習の時間 進路と社会貢献について



これらの話を受けて、自分の進路と社会貢献とを関連付けてレポートを作成し、代表グループが文化祭で発表しました。





イベント開発  
～地元企業と協働して～

【中学校】  
○1年生

## 各学校の特徴的な取組

### ○大和中学校 1 年生：イベント開発の取組

#### 1 年間の取組の流れ

6～7月	イベント開発の依頼を受ける イベント開発の仕方について知る
夏休み	会場の下見、イベント案考案
9～12月	イベント案のプレゼン イベント準備
1月	イベントの宣伝
2月	模擬イベント 最終確認
3月	イベント実施

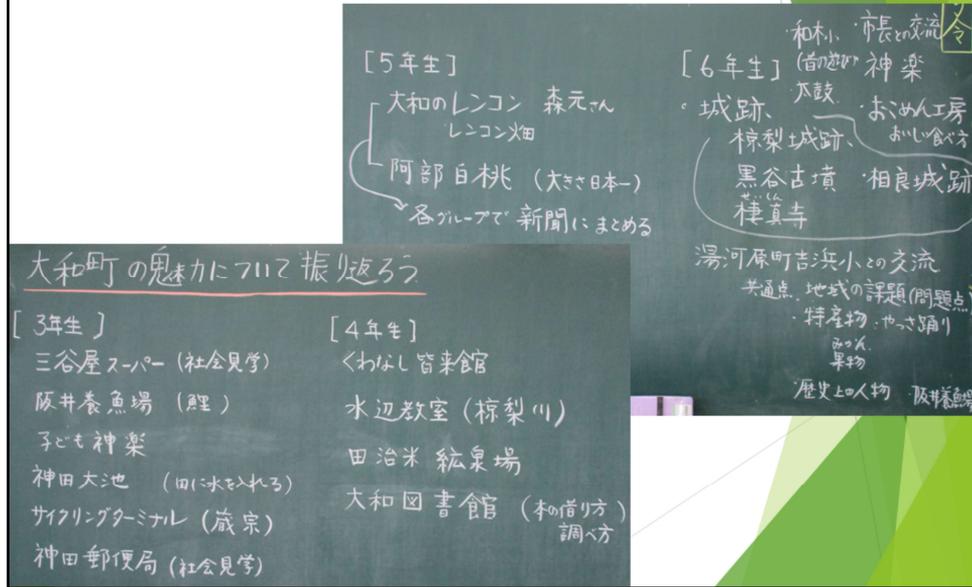


大和中学校 1 年生の取組についてです。  
地元にある果実の森公園さんと協働して、有料で行うイベント開発に取り組みました。

1 年間の取組の大きな流れです。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

小学校で学んだことの振り返り



取組をはじめるにあたって、まず、小学校で学習したことの振り返りをしました。地域にある魅力を多く学んでいました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

昨年度までの大和中学校の取組の紹介

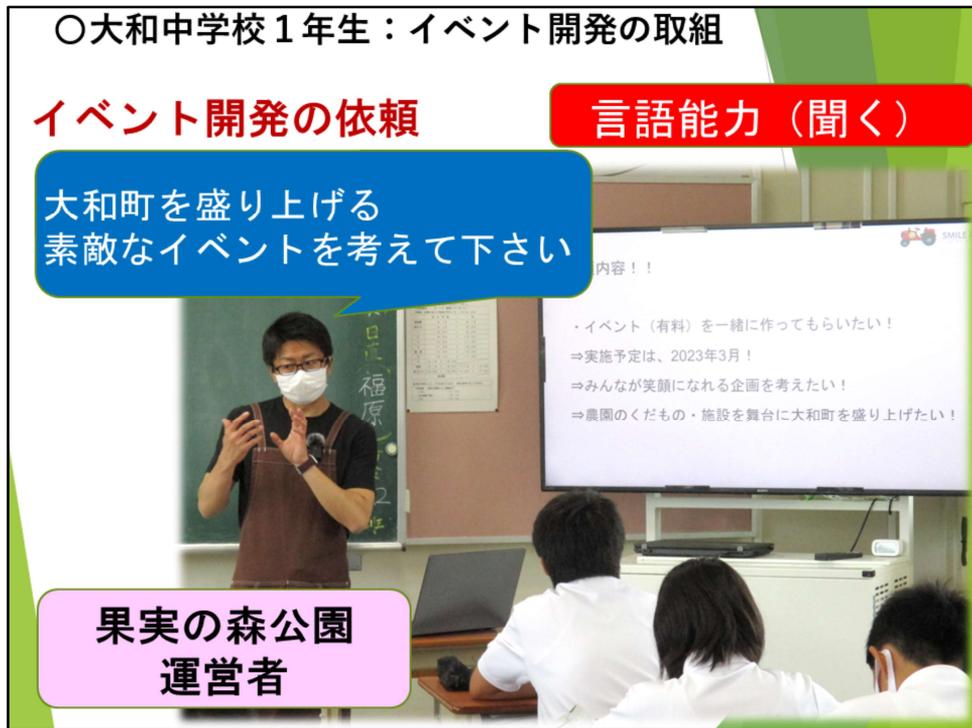
言語能力（聞く）

弁当に入れるおかずを  
1品考えました

地域支援員

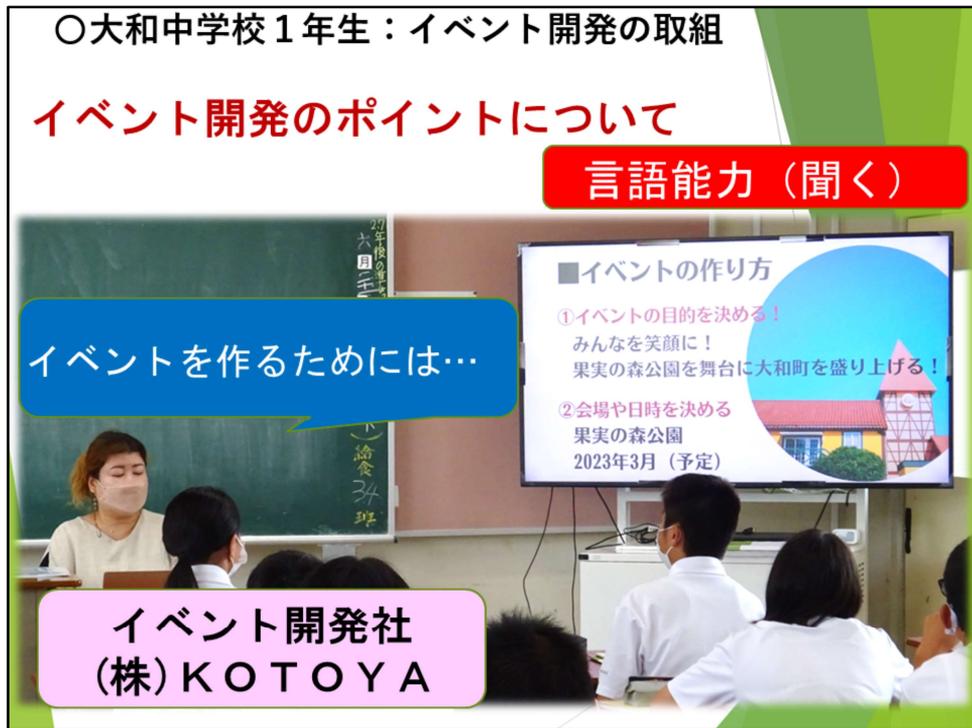
※スライドの右上にその時間で育成を目指す、または発揮する資質・能力を載せています。

地域支援員さんから、前年度までの大和中学校の先輩方の取組について紹介してもらいました。



協働して取り組んでくださる企業である「果実の森公園」の運営者さんを紹介した後、運営者さんから、「果実の森公園を使って、大和町を盛り上げる素敵なイベントを考えてください。」と依頼を受けました。

生徒の振り返りには、「大和町の人たちを笑顔にしたり、楽しませたりするようにし、協働開発を頑張りたい」とあり、地元である大和町を盛り上げたいという気持ちを強く持った様子が伝わってきました。



イベント開発をするといっても、生徒もちろん教員も何からすればいいのかわかりません。  
そこで、イベント開発をされている「KOTOYA」さん（小松さん）から、イベントを作るための流れや視点を教えていただきました。

## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

### イベント案を考えるためには？

イベントを考える前にした方がよいことを見つけてみる

3月の下旬... いちご

- ① イベントの目的を決める
- ② 会場・日時を決める
- ③ 会場の下見をする
- ④ イベントの内容を考える  
(お盆頃)

○いつ  
夏休み  
夏休み前  
○どこで  
果実の森公園

自分の都合  
お客が多い  
イベント  
考える時間  
がとれる

○何を  
会場の下見  
従業員にインタビュー  
原因を  
<インタビュー>

○誰が  
大和中学1年生



イベント案を考えるために、  
果実の森公園の会場下見をしよう!!

KOTOYAさんの話をもとに、イベント案を考えるためにした方がよいことについて考えました。

そして、みんなで果実の森公園の会場下見をすることにしました。

## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

### イベント案を考えるためには？

会場の下見をするときの  
ポイントはこれだね!!



- ・内容は  
〈下見〉
- ・どんな環境か(匂い、音、日差し、出口・入口)
- ・お客様の数、年齢層
- ・会場の広さ
- ・地形(草形、傾斜など)
- ・どんな商品が売れやすいか
- ・雨天の天地をどうするか
- ・その場所の良さ
- ・見える景色

会場の下見をするときのポイントをみんなで確認しました。  
会場の広さや、その場所の良さ、そこから見える景色などを確認しようということになりました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

果実の森公園の会場下見

主体性



夏休みに果実の森公園の会場下見をしました。  
実際に現場を見て、色々なイベント案が浮かんだようです。



## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

地域の方へプレゼン

言語能力（伝える）

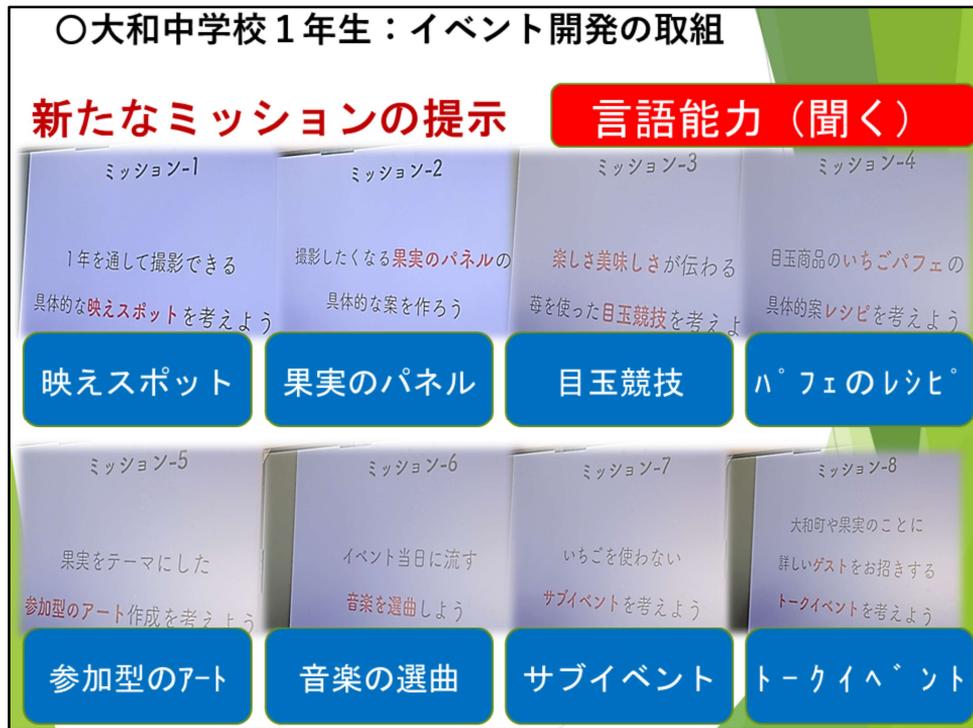


夏休みに生徒が考えた案をまずはクラス内で協議して、9つに絞りました。

9グループに分かれ、それぞれのイベント案の特徴をまとめたプレゼン資料を完成させ、果実の森公園の運営者さんをはじめ、大和中の取組を支えてくださっている地域の方々へ、考えたイベント案のプレゼンをしました。

プレゼンをする際には、イベントに来て頂きたいターゲットやイベントのおすすめポイントなど、ウリとなる視点を明確にして伝えることができました。

プレゼン発表後に、地域の方々が開発を進めるイベントについて協議され、果実の森公園の運営者さんに発表していただきました。



開発を進めるイベントが決まって喜んでいるのも束の間です。  
新たに、地域の方から8つのミッションが生徒に与えられました。

それは、

- ① 1年を通して撮影できる映えスポット
- ② 撮影したくなる果実のパネル
- ③ いちごを使った目玉競技
- ④ いちごパフェのレシピ
- ⑤ 果実をテーマにした参加型のアート
- ⑥ イベント当日に流す音楽の選曲
- ⑦ いちごを使わないサブイベント
- ⑧ 大和町や果実のことに詳しいゲストによるトークイベント

を考えることです。

ミッション7の「いちごを使わないサブイベント」を考えるミッションは、生徒の振り返りの中に、「イベントがいちごに関するものばかりだと、いちごが好きではない人がきてくれないのではないか」というものがあり、このことを地域の方に情報提供し、このミッションを加えて頂きました。

※【イベント当日について…「 」内は実施したイベント】

- ①②は、「果実のパネルの映えスポット：無料」

- ③は、「いちご障害物競争」
- ④は、いちごパフェの販売
- ⑤は、「プラ板のキーホルダー」
- ⑥は、3世代が楽しめる曲の選曲。ただし、当日は著作権の都合でパラディーゾさんに依頼。
- ⑦は、「りんごの積み上げ」と「クロスワード」
- ⑧は、「運営者と園長によるトークイベント：無料」

## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

### ミッションの最適解のプレゼン

言語能力（伝える）



クラスを9つに分け（サブイベントは2班、それ以外は1班）、それぞれのミッションに対する最適解を考え、改めて地域の方々にプレゼンをしました。

プレゼンするときには、なぜこのアイディアにしたのかについて、自分たちの思いやインターネットで調べたデータをもとにスライドの作成をしました。

いちごを使わないサブイベントは、会場を散策する必要があるクロスワードと、りんごの積み上げ大会を提案しました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

ミッションのブラッシュアップ

主体性



果実の森公園  
運営者

地域支援員

ミッションの最適解のプレゼンをした後に、ブラッシュアップに取り組みました。その際、地域の方々に各グループに入ってもらい、生徒と地域が一体となってイベント開発に取り組みました。

※生徒はアイデアを出すのが、本当にそのアイデア通りにできるかどうか判断できないものがある。

例えば、「目玉競技」のいちご障害物競争の中には、いちごを食べて品種を当てるというアイデアを出しているが、いちごを用意できるかどうかは果実の森公園でないと判断できない。

そのため、地域の方々にも各グループに入ってもらった。

## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

### イベント名の考案

情報活用能力



ある程度、どのようなイベントを実施するか決まったところで、どこで、どのようなイベントが行われるのかが伝わるイベント名の考案をしました。その際、（株）KOTOYAさんから頂いたイベントに関する資料などを参考にしました。

その結果、フルーツを使うということ、果実の森公園で行うということが伝わる「フルーツFestival in 果実の森～Spring2023～」に決定しました。

## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

### お客さんを呼ぶためにこれからすること

お客さんを呼ぶために何をしたらいいだろう

- ターゲット層  
・3世代
- イベント 宣伝方法  
みんなに伝える
- ポスター、ちらし
- SNS, インターネット  
・LIME公式アカウント
- 町内放送
- すぐる
- ラジオ
- 電話
- 動画  
・TV
- 新聞
- 果実の森公園のHP
- メール, DM

お客さんを呼ぶために、  
こんなことができないかな!!



開発するイベントとイベント名が決まりました。  
しかし、これだけではまだお客さんが集まりません。  
お客さんを呼ぶために、これからした方がよいことを考えました。

ここにあるように、たくさんのアイデアが出ました。  
その中でも、生徒が取り組むことは「ポスター」「ラジオ」「町内放送」としました。



まずは、ラジオ放送についてです。  
講師としてFMみはらのMCの方に来校していただき、情報を伝えるポイントや発声の仕方についてお話をさせていただきました。

CM形式（50秒程度×6セット）の原稿と、  
インタビュー形式（4つの質問）の原稿を考え、学校でFMみはらさんに録音していただきました。

※CM形式の内容：生徒が何を伝えるとよいか考えた。  
ほぼインタビュー形式と同じ内容になった。イベントの具体的な内容が詳しくなった。

※インタビュー形式の4つの質問

- ・どんなイベントを開催する予定なのか。
- ・どのような取組をすすめている、またはすすめてきたのか。大変だったことは何か。
- ・イベントを通して伝えたいことは何か。
- ・ラジオをお聞きの皆さんへ呼びかけ（意気込み+「いつ」「どこで」）。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

宣伝：町内放送

言語能力（伝える）

いつ、どこで、誰が、どんな  
思いで、どのようなことをす  
るか伝えよう!!

大和支所

町内放送でイベント開催の宣伝を行いました。  
限られた字数の中で、伝えたい情報が発信できるよう、大和支所で収録しました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

宣伝：ポスター制作

言語能力（聞く）

自由に楽しんで描いて  
ください!!



グラフィックデザイナー

大和中学校キャリア教育：フルーツFestival告知用ポスター制作：作ってもらったもの

イベント名：  
フルーツFestival in果実の森  
のタイトル

と

フルーツFestival  
がイメージできる・アピールできる  
イラストを書いてみてください。

ポスター制作をするにあたって、  
大阪でグラフィックデザイナーをされている方（大和中学校卒業生）にオンラインで講師になっていただき、デザインの基礎について学びました。

ポスターの要素の中でも、タイトルとイラストを考えてほしいという依頼を受けました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

宣伝：ポスター制作

言語能力（伝える）



5グループが「タイトル」と「イラスト」のアイデアを出し、講師の方にプレゼンをし、評価していただきました。

## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

### 宣伝：ポスター案への投票依頼



ポスター案は、大和中の生徒全員の投票によって決めました。

このポスターは、投票の結果を受けて選ばれたデザインをもとに、講師の方にブラッシュアップしていただいたものです。

※宣伝の授業の流れは、

- ①FMみはらの方からの授業
- ②グラフィックデザイナーの方からの授業
- ③学級を「ラジオ放送」「ポスター制作」「町内放送」に分けて、同時進行で取り組みを進めた。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

イベントに必要なものを作成

主体性

廃材を利用して、イベントに必要なものを作ってください!!

果実の森公園  
運営者

サブイベントの「りんご積み上げゲーム」では、果実の森公園の運営者から、廃材を利用してりんごに見立ててほしいという依頼を受けました。イベント開催に向けて、イベントに必要なものを作成しました。

SDGsの視点を取り入れています。



各グループで取組を進めていきます。

※上段左から、「りんご積み上げゲーム」「参加型アート：プラ板」「映えスポット」

下段左から、「クロスワード」「いちご障害物競争」  
これ以外として「トークイベント」

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

模擬イベント開催

言語能力（聞く）

誰が、どの時間に、何をするかを明確に!!

イベント企画運営会社  
CCC

準備が整ったところで、模擬イベントを開催し、改善案を挙げる取組をすることにしました。

模擬イベントを実施するにあたって、イベントを企画・運営されているCCC（カルチャ・コンビニエンス・クラブ）の方に、イベントへの心構えや役割分担についての講話をしていただきました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

模擬イベント開催

主体性



体育館を使って、模擬イベントを開催しました。  
お客役は、講師のCCCの方、地域の方々、広島大学ボランティアサークルに所属している学生2名や大和中の先生にいただきました。

模擬イベントを通して、お客さんが多いときと少ないときの動きの確認や時間配分など、イベント当日に向けた改善案を多く出すことができました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

## 模擬イベント開催



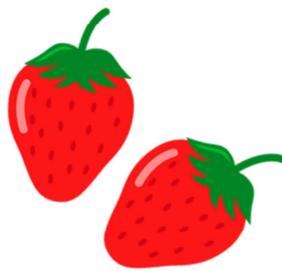
模擬イベント後に、講師の方から気づきを伝えて頂きました。  
さらに、生徒自身で改善案を挙げる事ができました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

**イベント開催**

**場所：果実の森公園**

**日時：3月4日（土）10:00～12:00**



イベントは、令和5年3月4日（土）10時～12時に果実の森公園で開催しました。  
天気にも恵まれ、大盛況でした。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

イベント開催

主体性、  
自己理解・他者理解



広島大学  
ボランティアサークル  
地域の方々

当日は、広島大学のボランティアサークルの学生11人や、地域の方々にもスタッフとしてイベント開催の協力をしていただきました。

生徒は積極的にお客さんに声をかけ、イベントを成功させようと一生懸命取り組みました。

また、お客さんが子供と大人とでは、声掛けの仕方を変えるなど、相手意識をもって接客する姿が見られました。

## ○大和中学校1年生：イベント開発の取組

### ①園長さんにインタビュー



### ②クロスワード



イベントは、無料のイベント2つ、有料のイベント4つ、全部で6つ行いました。有料のイベントに参加される方には、500円で4枚綴りのチケットを購入していただきました。それぞれのイベントを紹介します。

#### ①運営者さん、園長さんと呼んで農業についてインタビュー

- ・無料
- ・2回開催

#### ②大和町のこと、果実のことを題材にしたクロスワード

- ・チケット1枚
- ・クロスワード正解で景品（おこめん∞）

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

③プラ板のワークショップ



④いちご障害物競走

③果実や動物のプラ板のワークショップ（参加型アート）

- ・チケット1枚で2個まで作成可
- ・お客さんが色を塗り、その場で焼いて、チェーンを取り付けてキーホルダーにする。

④いちごを題材にした障害物走（目玉競技）

- ・チケット1枚
- ・ゲームをした時点で、トップ3のタイムになった人（グループ）全員に、景品（いちご狩り体験券6、いちごパック10、おこめん∞）

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

⑤りんご積み上げゲーム



⑥映えパネル

⑤アップサイクルして作ったりんごを積み上げるゲーム

- ・チケット1枚
- ・1分で4個以上積み上げたら景品（ジェラート引換券10、ジャム20、おこめん∞）

⑥景色の良い場所で映えパネルで撮影

- ・無料

およそ300名のお客さんが来られ、チケットは全部で92枚販売することができました。

○大和中学校1年生：イベント開発の取組

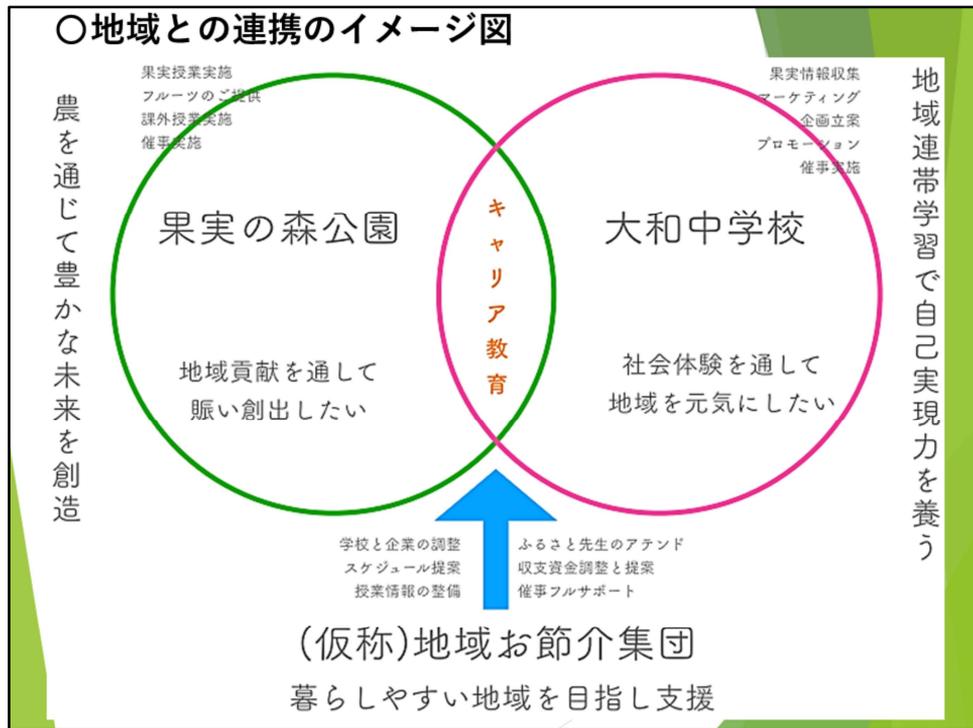
生徒へのフィードバック

自己理解・他者理解

自分たちで課題をクリアし、  
イベントを成功させたね!!

果実の森公園  
運営者

模擬イベント後に、講師の方から気づきを伝えて頂きました。  
さらに、生徒自身で改善案を挙げる事ができました。



このイベントを開催するにあたって、いろいろな企業や地域の方々、そして大学生と協働して取り組んでいます。  
 これらの人材をすべて学校が手配することは大変なことです。  
 大和町にあるおこめん工房の社長さん（大和中学校卒業生）が地域お節介集団の中心となって、連携してくださいました。

※R 5 より、「地域法人おせっかいさん」となった。



## まとめ

- ・ 生徒のアンケート
- ・ 資質・能力の発揮
- ・ 地域、教職員の声

●まとめ

資質・能力の育成につながっている

- ・ 知識及び技能
- ・ 情報活用能力
- ・ 言語能力（伝える・聞く）
- ・ 主体性
- ・ 自己理解・他者理解



職業的自立  
社会的自立



これらの取組を通して、大和町を盛り上げるということも大事なことです。それだけではなく、キャリア教育の実践を通して、生徒の資質・能力を育成するとともに、社会に開かれた教育課程を実現していくことが大切だと考えています。本中学校区では、「育成したい資質・能力」とキャリア教育で育成を目指す「基礎的・汎用的能力」とをつなげています。

だからこそ、資質・能力の育成を目指すことを念頭において、キャリア教育の充実に向けて、新たな取組を進めることができます。

そうすることが、職業的自立や社会的自立につながることを考えています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

・ 資質・能力の発揮について（年度末・肯定的評価）

	1年	2年	3年
情報活用能力	82.9	91.4	89.3
言語能力（伝える）	85.7	82.9	75.0
言語能力（聞く）	97.1	91.4	89.3
主体性	88.6	85.7	89.3
自己理解・他者理解	97.1	88.6	96.4

この表は、令和4年度末（1年：3月、2・3年：2月）に生徒に資質・能力に関するアンケートをとった結果です。

多くの生徒が、キャリア教育の取組を通して、資質・能力を発揮することができたと感じています。

ただし、言語能力（伝える）については、発揮できていないと感じている生徒が他の資質・能力と比べるとやや多い結果になっています。

## ●まとめ

### 全体としての成果

- ・ 行事、清掃活動などに主体的に取り組む【主体性】
- ・ わかりやすいスライド作成【情報活用能力】
- ・ 聞き手を惹きつける発表【言語能力（伝える）】  
など

### 【生徒学習意識調査（6月）より】

- ・ 「自分の住んでいる地域のが好きです」
- ・ 「努力すれば、自分もたいていのことはできると思います」

**肯定的評価100%!!**

これらの取組を通して、多くの力を身に着けることができました。例えば、

- ・ 行事や清掃活動に意欲的に取り組む姿が見られます。
- ・ 授業では、必要な情報を精選したスライドを作成し、聞き手を惹きつけるために工夫をこらした発表をすることができています。

また、令和5年6月に実施した生徒学習意識調査では、

「自分の住んでいる地域のが好きです」と  
「努力すれば、自分もたいていのことはできると思います」  
の肯定的評価がどちらも100%でした。

この2つの項目も昨年度の取組をした成果ではないかと考えています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（1年）

【情報活用能力】

どんなイベントかお客様によっては「あるが、ネットが  
45分ほど見て、また、考えた。そのイベントを招待場  
場所の上手い使い方も考えた。

下見して分かった情報をもとに（例えば何が育  
ててあるか建物や景色を見て、印象に残ったもの）  
してイベントを企画するときに活かすことができた。

インターネット  
上の情報や、  
会場下見で得た  
情報をもとにイ  
ベントを考えた

まずは、1年生による自己評価です。

情報活用能力についてです。

インターネット上の情報や、会場下見で得た情報をもとにイベントの案を考えています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（1年）

【言語能力（伝える）】

お客さん、イベントの内容をわかりやすく  
説明するために、まとめていき、自分の思いも併せて伝える。

ポスター作りの際、自分の思い、実際にどのようなものを  
描いたかという中心となる部分と、それによって  
どのような変化、よい所があるかなどの付加の部分と  
意見を区別して発表した。

事実と意見とを  
区別して伝えて  
いる

言語能力（伝える）についてです。

事実と意見とを区別して伝えることができています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（1年）

【言語能力（聞く）】

お客さんが子供だから、単純な簡単なイラストをすすめ、地域の人からの話で「あきさせないこと」が大事だったので、何時来てもできるように明るく対応しました。

いろいろな地域の方々の話を参考にして、自分の考えを見つけたから。

地域の方の話を  
もとに、自分の  
考えをもったり、  
行動に移したり  
している

言語能力（聞く）についてです。

地域の方（講師）の話をもとに、自分の考えをもったり、実際に行動に移したり  
することができています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（1年）

【主体性】

トータルイベントが心算にみんなが立ち見下り聞いて  
いる人がいたので、放送も前から、みんなが  
準備ができたから。（同じクラスの仲間さんと一緒に）

イベントをするときにみんながたのびるように  
する」という課題をもって、他の人に指示を出し  
ながら他者とも協力して行動することができたから。

仲間と協力して、  
場面に応じた行  
動を自らするこ  
とができた

主体性についてです。

仲間と協力して、イベントの運営や準備をすることができました。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（1年）

【自己理解・他者理解】

私は絵を描くのが得意な方だから、友達に教わりました。それに、私は文を考えるのが苦手だから、友達が教えてくれたから、文を書いた。

イベントでの接客、ルール説明の役割を、長所短所を参考に分担でき、それぞれが役割を果たしたから。

- ・ 自分や仲間の得意なことを見つけている
- ・ 得意・不得意をもとに役割分担をしている

自己理解・他者理解についてです。

自分や仲間の得意なこと、不得意なことを理解し、助け合ったり役割分担をしたりしています。

## ●まとめ

### 資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（2・3年）

#### 【情報活用能力】

**理由** 修学旅行で自由行動をする際、行く場所の位置、混み具合、時間などの情報からしっかり判断したから。

**理由** 職業レポートのスライドを作成するとき、アンケートで集めた情報を使ってスライドを作成できたから。

**理由** 生徒会の校則見直し活動をする上で、校則にוות、様々な視点から見て、意見を聞き取り、判断し、みんなに伝えた。

収集した情報をもとに、  
多面的・多角的  
に物事を捉え判断している

ここからは、2、3年生による自己評価です（ルーブリックが1年生とは異なります）。

まずは情報活用能力についてです。

収集した情報をもとに、多面的・多角的に物事を捉え判断しようとしていることが見て取れます。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（2・3年）

【言語能力（伝える）】

**理由** 長崎の特産物についてスライドで発表するとき、イラストや写真と載せたり、特産物の説明を短くまとめ聞き手に分かりやすく長崎の特産物が伝わるように工夫して発表することができたから。

**理由** 30秒間スピーチなどで自分の考えとその根拠については、きちんと日本語がめいめいにならないように伝えることができたから。

**理由** 相手に伝えるときに、一番大切、一番簡明にしてほしい所を先に言うようにしたり、その根拠も自分なりに考え、より相手に伝わりやすく話せるようにした。

相手意識をもち、  
根拠を明確にして伝えるようにしている

言語能力（伝える）についてです。  
相手意識をもち、根拠を明確にして伝えるようにしていることがわかります。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（2・3年）

【言語能力（聞く）】

**理由** 相手と自分の意見の同じ所、違う所の比較をし、考えをさらに深めることができたから。  
(修学旅行のバスガイドさんの話や、行く先の場所についての説明はと)

**理由** 大和町で働いている方にインタビューをしたとき、やりがいや大変なことを自分の学校生活や部活でのやりがい、大変だと思うことと比較しながら聞くことができたから。

**理由** 話し合いの時に自分の意見と違う部分・似ている部分を比較して相手の考えを聞いていると思ったから。

自分と相手との考えを比較しながら聞いている

言語能力（聞く）についてです。  
自分と相手との考えを比較しながら聞いていることがわかります。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（2・3年）

【主体性】

理由 どうしたらこの課題を解決することが  
できるのかを自分だけじゃなく、他の  
人と課題解決について深く交流することが  
できた。

理由 前は、団体での行動で自分には受け  
入れがたい意見などがあつたとき、  
投げやりになってしまうことがあつたが、  
その意見に対して最後まで向き合つてい  
けるようになった。

理由 運動会の団長イとき、自分一人で  
後援をまとめようと思つたが、困つたら、  
同級生や先生と一緒に進んで行動できた  
から。

自分の意見をも  
ち、仲間ととも  
に課題解決をし  
ようとしている

主体性についてです。

自分の意見を持ち、仲間とともに課題解決をしようとしています。



●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・ 資質・能力の発揮について（2・3年）

前よりできてゐる所もあれば、できてゐない所もあった。  
けど、できてゐない所は前よりもできてゐない人ばかりで、  
できてゐない所、もう少し頑張れる所を見つけられた。

また、発揮できていないと評価している生徒の中にも、スライドのように、「前よりはできていないのではなく、できていないところ、もう少し頑張れるところを見つけられた」

と、今後につながる振り返りをしている生徒がいました。

資質・能力を意識した結果書くことができる内容だと思います。

## ●まとめ

### 資質・能力に関するアンケート（教員）

	大和小	大和中	計 (R5)	計 (R3)
資質・能力の育成を意識して、「総合的な学習の時間、生活科」の授業を行った。	100.0	90.9	94.7	84.2
資質・能力の育成を意識して、「各教科」の授業を行った。	88.9	90.9	90.0	55.0
子供自身が資質・能力の発揮を意識するような「総合的な学習の時間、生活科」の授業を行った。	87.5	90.9	84.2	78.9
子供自身が資質・能力の発揮を意識するような「各教科」の授業を行った。	77.8	81.8	80.0	50.0

こちらは教員にとってアンケートの結果です。

どの項目も、この3年間で向上しています。全体を見ると、総合的な学習の時間では、多くの教員が資質・能力の育成を意識して授業をしています。各教科では子供自身が資質・能力の発揮を意識する授業がややできていないので、引き続き、各教科においても、ルーブリックを活用しながら、資質・能力の育成を意識した授業づくりを進めていきたいと考えています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・各授業における資質・能力の発揮について

【情報活用能力】

理由 数学の問題で、どの公式を使うか  
解けるのか、どの定理を使うのかと、  
3人の方法を考えたりして、問題を  
解くことができた。

理由 社会の授業で制度のメリットや  
デメリットを多面的・多角的に  
考えたりすることができた。

各授業において資質・能力を発揮したと感じている生徒の振り返りを紹介します。

まずは、情報活用能力です。  
数学や社会で発揮したと実感しています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・各授業における資質・能力の発揮について

【言語能力（伝える）】

理由 技術や社会のレポート：自分の考えを書いて、相手に理解してもらおうために、根拠をしっかりと書いて、考えを理解してもらおうようにできたから

理由 数学の証明の条件が正しいか考え書くことができたから。

言語能力（伝える）です。  
技術、社会、数学で発揮したと実感しています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・各授業における資質・能力の発揮について

【言語能力（聞く）】

理由 国語を中心に7し-7°せ前での  
発表を聞くことで自分にはない意見や  
見かたを見つけよう自分と違うのかを  
考えられたから。

理由 道徳やグループ活動の場で自分とは意見の  
違う考えがあるときには自分の意見とどう違うのか  
考えたり、なぜそう考えたのかと考えたりしました。

言語能力（聞く）です。  
国語や、特別の教科 道徳で発揮したと実感しています。

●まとめ

資質・能力に関するアンケート（大和中生徒）

- ・各授業における資質・能力の発揮について

【主体性】

理由 技術の授権で班の人と意見を出し合ったり、ためしでやりこて、課題を解決しようと取り組んでたさ

主体性です。  
技術で発揮したと実感しています。

## ●まとめ

### 意識調査の変容

R 4 年度末	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	全国学調・ 県平均 (中 3)
将来の夢や目標 を持っている	55.8	60.0	82.0	75.0	77.0	71.8
自分にはよい ところがある	54.2	47.8	76.0	75.0	80.0	82.8

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

R 5 年度末	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	全国学調・ 県平均 (中 3)
将来の夢や目標 を持っている	80.0	80.6	71.4	78.6	88.2	70.2
自分にはよい ところがある	75.8	83.9	66.7	100.0	88.2	83.0

意識調査の変容についてです。

上の表が令和 4 年度末の結果、下の表が令和 5 年度末の結果です。

昨年度の小 5 が今年度の小 6 になります。

「将来の夢や目標を持っている」の項目は、各学校で、学年が上がるにつれ、肯定的評価が増加しました。

「自分にはよいところがある」の項目は、全学年とも前年度より、肯定的評価が増加しました。

## ●まとめ

### ○成果

- ・児童・生徒の意識調査より、義務教育最後の年に自己実現力や自己肯定感が上昇していた。
- ・教職員の意識調査より、総合的な学習の時間や生活科のみでなく各教科の授業においても、資質・能力の育成を意識して授業を行うことができている教員の割合が増えた。  
その結果、各授業で資質・能力を発揮したと感じている生徒が増えた。
- ・全学年が地域や企業と連携した、外部人材による授業を実施し、社会に開かれた教育活動を展開することができた。

取組の成果です。

●まとめ

○課題

- ・ 児童・生徒の意識調査より、全体としては自己肯定感・自己有用感が低い子供が多いと言える。
- ・ 育成を目指す資質・能力の中で「言語能力（伝える）」の発揮に対する肯定的回答がやや低い。

取組の課題です。

今後の改善点としては、

- ・ 単元ごとや行事後などに子供同士で評価し合う場の設定をすることで自己肯定感・自己有用感の高まりを目指す。
- ・ 自分の考えを伝える際に、根拠を明確にしたり、事実と意見とを区別して伝えたりできるように指導する。

ことに取り組んでいきたいと考えています。

●まとめ

○地域（地域法人おせっかいさん）の声

- ・ キャリア教育のサポートは、年間通して大変な事もありますが、生徒の成長を間近で感じた時の幸福感は何ものにも変えがたい贅沢な時間だなあと感じています。
- ・ 毎年カラーの違う生徒さんたちと出会っておせっかいさん冥利に尽きます。  
大和町愛にあふれた子どもたちが育ち、いずれまた大和町に帰ってきて地域を支えてくれる大人になってくれることを願います。

大和中学校区のキャリア教育を支えてくださっている「地域法人おせっかいさん」のコメントです。

●まとめ

○講師の声

- ・ 生徒さんが一生懸命準備されていたという話を聞いて、真剣に取り組んでいる姿が浮かび、今回も授業を引き受けて良かったなと思いました。

今回の授業を通して、生徒さんが一人でもロゴ作成やデザインに興味を持ってもらえたら嬉しいです。

イベントの告知の内、ポスター作製をする際、講師を引き受けてくださった方のコメントです。

●まとめ

○教員の声

【大和小学校】

- ・ 少し年上の先輩である高校生と一緒に商品開発をすることで、「自分もあんな高校生になりたい」「高校でこんな学習をしてみたい」と子供自身が具体的にイメージをもつことができました。
- ・ 自分の夢を叶えるために努力している高校生の姿に触れることで、勤労観や職業観も育成することができました。

キャリア教育に取り組んでいる各学校の教員のコメントです。

●まとめ

○教員の声

【大和中学校】

- ・ 地域の方と交流したり、先輩の方と交流したりして、地域のことを考え、大切にしようという気持ちをもてたと思います。また、見守ってくださっていることへの感謝の気持ちを自然ともつことができるようになりました。
- ・ イベントのミッションをクリアするために、生徒がアイデアを出して協働したり、物作りで個性を発揮したりする中で、目指す資質・能力を発揮している姿が見て取れました。

キャリア教育に取り組んでいる各学校の教員のコメントです。